



2012
No. 286
6

誰もが、その人らしく、安心して暮らせる“福祉社会”をめざして！

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki

ハスの花、花園神社付近
(北茨城市)

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん

はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり福祉県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活用されています。



被災地支援村 (関連記事P8)

Contents

- 2 ～ 3 **特集** 平成24年度 事業計画
平成24年度 一般会計資金収支予算
- 4 日常生活自立支援事業が
県内全市町村(44か所)で実施されています
元気シニアバンク運営事業
苦情解決事業実績について
- 5 新設福祉施設の紹介
貸し出し機材紹介
わかち合おう小さな善意
- 6 茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業「施設職員等研修ガイド」
福利厚生センター会員交流事業のご案内
茨城県保健福祉部生活衛生課からのお知らせ
- 7 はい! 福祉相談です!
社協職員リレートーク「楯円球の魅力」
ボランティア活動保険
- 8 はんどちゃんネットワーク運動 サロン活動レポート
水戸市南町
「NPO法人東日本大震災応援隊サロン被災地支援村」



平成24年度 事業計画

1 基本方針

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害をもたらし、現在も復旧・復興に向けた取り組みが続けられています。この東日本大震災においては、人と人との「絆」の大切さが再認識されました。

このような認識を踏まえ、災害時のボランティア支援体制整備に一層取り組むとともに、住民主体の支え合いによるまちづくりを進めるため、サロン活動の普及・促進、ボランティア・市民活動の支援、高齢者の健康・生きがいづくり等に取り組ん

でまいります。また、福祉人材の育成・確保、生活困窮者対策、日常生活の自立支援、福祉サービスの向上等に努めてまいります。

6月号では平成24年度の予算の概要と主要な事業の計画について、お知らせいたします。

2 重要事業

1. 支え合う福祉（住民参加とコミュニティづくりの推進）

■ 住民参加によるまちづくりの支援

住民が相互に支え合い、ともに生きるまちづくりを進めるため、「はんどちゃんネットワーク運動」を引き続き展開し、地域福祉活動の拠点として誰もが気軽に集まれるサロン活動の普及や支援の拡大に取り組む。また、地域ニーズに的確に対応する市町村社協役職員の研修の充実を図るとともに、市町村社協への訪問支援活動を充実し、住民主体の地域福祉活動推進を支援する。

■ ボランティア・市民活動への支援

福祉を視点とした住みよい地域づくりをすすめるボランティア・NPOへの助成事業を新たに実施して活動の充実を図るとともに、ボランティア活動研究集会やボランティアコーディネーター研修会などを開催し、ボランティア活動の強化と市町村社協ボランティアセンターへの支援を行う。

■ 災害時に対応した支援体制の整備

風水害や地震等の災害発生時に、迅速かつ円滑に福祉救援・ボランティア活動が実施できるよう、被災地としての経験を活かし、「災害時のボランティア活動支援マニュアル」を見直し、防災ボランティア活動の人材養成や活動体制の整備を行う。

■ はつらつと社会参加できる環境づくり

わくわく元気アップ講座開催事業

団塊シニアからシニア世代による学習活動を通じた社会参加を促進するため、生きがいと健康づくりをテーマとして、豊かなアクティブライフを実現する講座を開催する。

2. 安心して利用できる福祉（福祉サービス利用者への支援）

■ 第三者評価事業及び外部評価事業の推進

福祉施設、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症高齢者グループホームが利用者に提供しているサービスについて、公正かつ中立な評価を行うことによって、福祉施設等が

自ら行う福祉サービス向上のための改善等の取り組みを促進するとともに、利用希望者が希望する福祉サービスを適切に選択できるよう推進する。

3. 質の高い福祉と協働する福祉（社会福祉事業の充実・活性化への支援）

■ 福祉・介護人材確保のための緊急支援

解雇や離職等により失業中の方を対象に、雇用や就職機会を創出することで、福祉人材を確保する。また、国の方針を受け、各種福祉・介護人材確保対策事業を実施するとともに、広報や事業の実績把握や効果検証等を一体的に実施し、各事業の連携強化、相乗効果の促進を図る。

さらに、各養成学校に在学し、社会福祉施設等で就労する介護福祉士等の資格取得を目指す学生に対して、修学資金の貸付を行う。

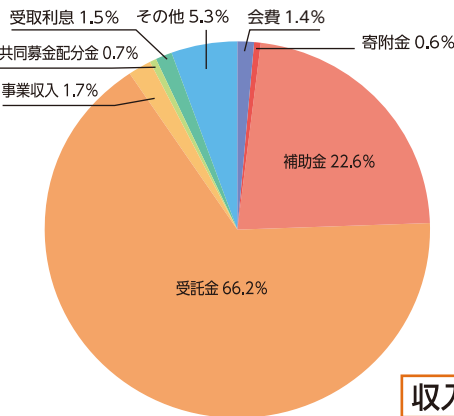
- ① 福祉・介護職員確保特別対策事業
- ② 潜在的有資格者等再就業促進事業
- ③ 福祉・介護人材マッチング機能強化事業
- ④ 福祉・介護人材キャリアパス支援事業

- ⑤ 福祉・介護人材確保対策連携強化事業
- ⑥ 介護福祉士等修学資金貸付事業

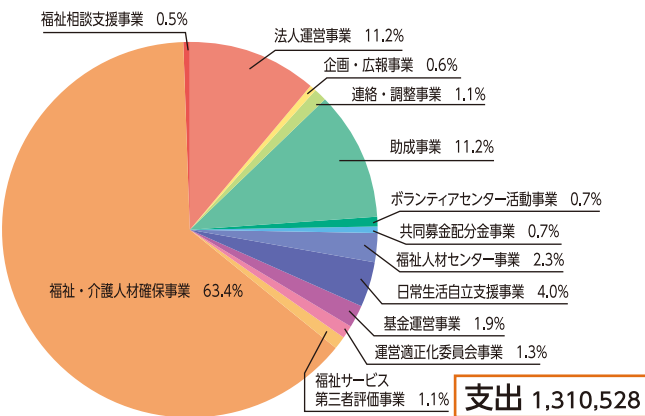
■ 社会福祉施設地域貢献活動支援事業

地域社会において、福祉施設の大きな役割となっている地域貢献活動を促進するため、福祉施設が行う地域貢献活動を支援する市町村社協へ助成金を交付することで、地域貢献活動の普及啓発に努め、より一層の活性化を図る。

平成24年度 一般会計資金収支予算



収入 1,310,528



支出 1,310,528

収入の部(予算額：千円)

名称	予算
会費	18,886
寄附金	7,931
補助金	296,128
受託金	867,470
事業収入	22,074
共同募金配分金	9,000
受取利息	19,712
その他	69,327
合計	1,310,528

その他収入内訳

名称	予算
負担金	12,380
雑収入	729
会計単位間繰入金	14,335
経理区分間繰入金	20,226
その他	49
前年度繰越金	21,608
合計	69,327

支出の部(予算額：千円)

名称	予算
法人運営事業	146,485
企画・広報事業	7,251
連絡・調整事業	14,335
助成事業	146,618
ボランティアセンター活動事業	9,599
共同募金配分金事業	9,290
福祉人材センター事業	30,673
日常生活自立支援事業	52,321
基金運営事業	24,582
運営適正化委員会事業	17,660
福祉サービス第三者評価事業	14,290
福祉・介護人材確保事業	830,924
福祉相談支援事業	6,500
合計	1,310,528

日常生活自立支援事業が県内全市町村(44か所)で実施されています

平成24年4月から、お住まいの市町村社協において日常生活自立支援事業が実施されています。以下のサービスの相談、支援を行っています。

①福祉サービスの利用援助②日常的な金銭管理③書類等の預かり

【利用できる人】認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方が対象です。手帳を所持している人、診断を受けている人とは限りません。

*利用者本人との契約です。判断能力が著しく低下し、契約を結べ

ない方は、成年後見制度により後見人等（後見人、保佐人、補助人）を選任して、後見人等と社会福祉協議会との契約により利用することができます。

【費用】相談から支援計画の作成、契約の締結は無料ですが、サービスは有料です。

上記①～②のサービス 1時間あたり900円

上記③書類等の預かりサービス 1か月あたり500円

■その他交通費は実費負担していただくことがあります。

■詳細は、お近くの社会福祉協議会にお問い合わせください。

元気シニアバンク運営事業

茨城県では、高齢者が長年培ってきた豊富な知識・技術・経験・ノウハウなどを、ボランティアとして地域活動に積極的に活かしてもらおうと「元気シニアバンク」を開設しています。

元気シニアバンクに登録された高齢者の方々は「茨城シニアマスター」として、地域活動等を行う団体の依頼に応じ、地域に出向いて活動しています。現在、元気シニアバンクには、県知事から登録証を交付された、

78の団体と58人の個人が登録されています。

茨城シニアマスターを利用できる団体は、公民館、子ども会、幼稚園、保育園、小中学校、放課後子どもクラブ、放課後子ども教室、老人クラブ、高齢者サロン、高齢者施設など県内に活動拠点を置く団体、社会福祉施設等です。



地域活動を行う皆さんへ

茨城シニアマスターの分野別登録状況

登録分野	主な提供内容
健康・スポーツ分野	介護予防体操、ウォーキング、ニュースポーツ、介護食調理
文化・芸術分野	楽器演奏、演劇、詩吟、相撲甚句、書道、絵画、文芸(川柳)、コーラス、ダンス、舞踊、歌の公演
趣味・教養分野	茶道、生け花、手芸、折り紙、ちぎり絵、絵手紙づくり、おもちゃづくり、民話、昔遊び、郷土芸能、手品、将棋、健康マージャン、牛乳パックリサイクル、ネイチャーゲーム、しめ縄づくり、読み聞かせ
介護・地域活動分野	介護技術の指導、介護福祉疑似体験、料理教室、日本語教室
子育て分野	子育てサークル活動支援、育児アドバイス

茨城シニアマスターを利用したい場合は、「茨城シニアマスター紹介申込書」により、茨城わくわくセンター宛てにお申し込みください。活動団体を決定し、紹介します。また、バンク登録募集も行っていますので、ボランティアとして地域活動に意欲のある方の申請をお待ちしております。

■詳細については茨城わくわくセンターへお問い合わせいただくか、元気シニアのホームページをご覧ください。

問い合わせ先

県社協 茨城わくわくセンター

TEL 029-243-8989 FAX 029-244-4652

http://www.genki-senior.org/ 又は インターネットから検索

茨城元気シニアバンク

検索

苦情解決事業実績について

運営適正化委員会では、福祉サービスのサービス内容に関する疑問や不満などの相談を受け付けています。平成23年度は苦情が55件、相談が7件でした。多かった苦情は、サービス内容についての苦情で、職員の接遇やサービスの質や量に関するものが27件と約5割を占めていました。相談受付は、月曜日から金曜日の9時から17時まで（土、日、祝祭日は休み）です。相談は無料で、プライバシーは厳守いたします。お気軽にお電話ください。

■運営適正化委員会事務局 TEL 029-305-7193(直通)

企業広告

いろいろな暮らしがあります。その暮らしの数だけ、もっと、それ以上の、「夢」があります。そんなみなさんの夢をひとつずつ、ひとつずつ、「カタチ」にしていくお手伝い。そんなみなさんの夢を応援していく。働く人のための金融機関です。

もっとサポート
ずっとサポート
中央ろうきん
中央ろうきんは、県民の生活を支えるために、金融機関として活動しています。



R ろうきん

新設福祉施設の紹介 平成24年2月1日～平成24年4月30日までの開設

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム ホームヴィレッジみと	社会福祉法人 公重会	定員／ 70 名	〒310-0914 水戸市小吹町2053-36	029-243-6008
特別養護老人ホーム あおば	社会福祉法人 河内厚生会	定員／ 29 名	〒300-1605 北相馬郡利根町大平260-2	0297-85-4860
特別養護老人ホーム ようよう	社会福祉法人 地域福祉会	定員／ 50 名	〒315-0037 石岡市東石岡3-2-19	0299-56-4545

保育所

子どもの家菫の苑	社会福祉法人 菫福祉会	定員／ 20 名	〒311-3832 行方市麻生615-4	0299-77-1766
すみれ保育園	社会福祉法人 ナガタナガサキ	定員／ 80 名	〒305-0034 つくば市小野崎311-1	029-858-1202
戸頭東保育園	社会福祉法人 小瀬福祉会	定員／ 120 名	〒302-0034 取手市戸頭3-17-1	0297-78-2309
青い丘保育園二の宮	社会福祉法人 青丘	定員／ 60 名	〒305-0051 つくば市二の宮4-4-37	029-850-3310

貸し出し機材紹介

県社協では、ボランティア活動や福祉啓発の会議・研修・体験学習のために使用する物品を、無償で貸し出しています。このたび、新しい機材が加わりましたのでご紹介いたします。詳細は、県社協のホームページをご覧ください。どうか、県社協ボランティアセンター(029-243-3805)までお問い合わせください。

NEW 機材一覧

- * 点字記号札
- * ワンブッシュ点字器
- * 綿菓子機
- * ポップコーン機
- * はんどちゃんバルーン着ぐるみ
- * 点字一覧表



わかち合おう小さな善意 平成24年2月～平成24年4月善意金等の預託と払い出し状況(敬称略)

ボランティア基金

預託者名	金額(円)
日本興亜損害保険株式会社水戸支店	29,745
株式会社セイコーマート 茨城地区事務所	1,030,460
映画「エクセルお菓子放浪記」茨城県上映推進委員会	100,000
合 計	1,160,205

善意金

預託者名	金額(円)
丸大食品株式会社	12,643
中澤望	16,500
茨城県PTA連絡協議会	500,000
友楽会	15,000
合 計	544,143

平成23年度 使用済み切手・使用済みテレホンカード等寄付の集計結果
★使用済み切手／510,000円★使用済みカード／18,000円
★未使用外国切手／10,000円

これらについては、茨城県ボランティア基金として使わせていただきます。
ご寄付いただきました皆さま、ありがとうございました。

交通遺児福祉基金

預託者名	金額(円)
大洗町交通安全母の会	10,000
合 計	10,000

使用済テレホンカード等

預託者名	預託者名
茨城県保健福祉部 子ども家庭課	富士ゼロックス茨城株式会社
茨城県立健康プラザ	茨城県福祉部 障害福祉課
茨城県保健福祉部 長寿福祉課	フコク生命水戸支社 外野倶楽部
茨城県保健福祉部 福祉指導課	大洋保育園
株式会社 三共建設	茨城県腎臓病患者連絡協議会
きらら館 岡部雄一	本木 千恵子
三井住友火災保険株式会社 茨城支店	常陽ボランティア倶楽部

社会福祉協議会(稲敷市、結城市、鹿嶋市、ひたちなか市、常陸大宮市、かすみがうら市、神栖市、古河市、日立市、五霞町、利根町、八千代町、河内町、石岡市、龍ヶ崎市の、つくば市、常陸太田市、守谷市、水戸市、小美玉市)



茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業「施設職員等研修ガイド」(平成24年6月～8月開催予定分)

6月	18～19日	アクティビティワーカー研修A・B
	27～28日	カウンセリング研修B
7月	10～11日	メンタルヘルスケア研修
	25～26日	カウンセリング研修C

8月	1～2日	クレーム対応力強化研修A
	4日	安全運転研修
	8～9日	業務改善手法研修
	21～22日	OJT研修A
	28日	社会福祉施設等給食担当者研修
	29～30日	クレーム対応力強化研修B

- 日程につきましては、あくまで予定です。講師との調整などにより、開催日が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
- 上記研修等についての問い合わせは、福祉人材・研修部(TEL:029-244-3755)までお願いいたします。
- なお、本会ホームページ「研修・会議のご案内」からも研修案内が閲覧できますので、ぜひご利用ください。
http://www.ibaraki-welfare.or.jp/modules/pico_04/index.php?content_id=27

福利厚生センター 会員交流事業のご案内

福利厚生センター茨城では、会員の皆様向けに下記の会員交流事業を企画しております。企画の詳細につきましては、今後送付するチラシまたはソウェルクラブHPをご覧ください。

現在企画している会員交流事業

事業名	実施日		実施日
茨城空港発着北海道(小樽・旭山動物園・富良野)2泊3日	7/28～30	東京ディズニーランドパークファン・パーティ	9/29
八景島シーパラダイス	7/28	東京スカイツリー	10/20
帝国劇場「ラ・マンチャの男」観劇	8/4	キッザニア	11/13
ディズニー・オン・アイス	8/18	秋の京都1泊2日	11/17～18
宝塚観劇	9/1	ワインのタベ	11/17

■ソウェルクラブ(福利厚生センター)茨城
[業務受託団体] 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 福祉事業部(担当:後藤、関、箕輪)
TEL:029-241-1133 FAX:029-241-1434 <http://www.sowel.or.jp/>



A 福祉の職場で働くことを希望しているのですね。

福祉分野の資格は、施設の種類・職種により求められる資格が異なってきます。子どもが対象の施設では、保育士・幼稚園教諭・児童指導員任用資格等、障がいのある方や高齢者が対象の施設では、介護にはヘルパー2級・介護福祉士等、相談、支援、指導には、社会福祉主事任用資格・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員等、看護職には看護師・准看護師、リハビリには、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士等、調理には栄養士・管理栄養士・調理師等の資格が求められています。このほかにも資格はありますが、詳細と資格の取得方法等については、当福祉相談(029-244-4311)・または、茨城県福祉人材センター(029-244-4544)でご相談いただけます。

茨城県保健福祉部

生活衛生課からのお知らせ

食品中の放射性物質の新たな基準値が定められました

東京電力福島第一原発の事故後、厚生労働省は、食品の暫定規制値を設定し、原子力災害対策本部の決定に基づき、暫定規制値を超える食品が流通しないよう出荷制限などの措置をとってきました。暫定規制値を下回っている食品は、健康への影響はないと一般的に評価され、安全性は確保されています。しかし、より一層、食品の安全と安心を確保するために、事故後の緊急的な対応ではなく、長期的な観点から新たな基準値が設定されました。この新しい基準値は、本年4月1日から施行されています。

基準値見直しの内容

(単位:ベクレル/kg)

放射性セシウムの暫定規制値※1 放射性セシウムの新基準値※2

食品群	規制値	食品群	基準値
飲料水	200	飲料水	10
牛乳・乳製品	200	牛乳	50
野菜類	500	一般食品	100
穀類			
肉・卵・魚・その他		乳児用食品	50

※1 放射性ストロンチウムを含めて規制値を設定

※2 放射性ストロンチウム、プルトニウムを含めて基準値を設定

- 詳細については、厚生労働省ホームページ(下記リンク)を参照願います。
http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html
- 問い合わせ先:茨城県保健福祉部生活衛生課 食の安全対策室 TEL 029-301-3424

社協職員リレートーク

Relay Talk Vol. 楯円球の魅力

利根町社会福祉協議会 岡野 和弘

2019年にラグビーのワールドカップが日本で開催される。知っている人は少ないと思う。私も高校でなんとなくラグビーを始め、大学・社会人と、現在もまだ続けている。今日はそんなラグビーの魅力を少し伝えたいと思う。

ラグビーでは有名な言葉として「One For All, All For One」がある。「1人はみんなのために、みんなは1人のために」という意味だ。得点をした選手が派手なガッツポーズなどをする姿は、ラグビーに限っては少ない。その理由はこの言葉にある。このトライは皆で取ったトライだ、という意識が強いのだ。そういった他のスポーツでは垣間見る事ができない「精神」があるのもラグビーの魅力である。

また、ラグビーの場合、試合終了を「ゲームセット」や「エンドゲーム」等といわず、「ノーサイド」という。試合終了の笛が鳴れば、敵味方関係なく健闘を称えあおうとい

う意味で、ノーサイド後のアフターファンクションでは、両チーム入り乱れてビールを飲みながら、ちょっとした宴会が行われる。こういった光景もラグビー独特のものである。

現在では、少子化のせいか新聞等で高校・大学の試合結果を見るとチーム数も少なく部員も少ないようで、少し寂しい感じがする。私達の時代は、まさに3K(きつい、汚い、危険)そのものであったが嫌いではなかった。今では、遠く離れてしまった昔の部員達の集合がかかれば、酒を飲み交わし共に苦しみ・笑い・泣いた昔話に花が咲く。

是非、一度は試合会場に足を運んで欲しい。人と人がぶつかり、骨が軋む音が生で聞こえてくる。大きな試合になると国立競技場で行われることが多いが、秩父宮ラグビー場の方が間近で見え初心者にもお勧めである。生で見て魅力を知ってもらい、ファンが一人でも増えてくれるとうれしい。



ラグビーの試合に参加する岡野氏

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランで、死亡1,400万円、入院7,000円、通院4,100円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国200万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン...	280円	Bプラン...	420円
保険料	天災タイプ	Aプラン...	490円	Bプラン...	720円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社





水戸市南町

NPO法人東日本大震災応援隊 サロン被災地支援村

水戸徳川家のゆかりの地として、そして茨城県の県庁所在地として長い歴史と伝統を持つ水戸市。その中心部である南町、水戸駅前からの国道50号線沿いにあるのが、今回ご紹介する NPO法人東日本大震災応援隊の皆さんが運営するサロン「被災地支援村」です。活動の中心は、被災地で直接被害、または風評被害にあっている生産者や食品加工会社の商品の仕入れと販売を通じた被災者支援。小さなスペースながら店内には、宮城、岩手、福島、茨城、各地のさまざまな特産品が所狭しと並びます。

「最初は被災地に支援物資を運ぶ団体として発足したんです」と代表理事の府川守さん。「震災の様子を見て自分も何かなくては、と考えたんです。震災から1ヵ月後の4月11日には募金で集まったお金を茨城県に、続いて福島県に寄付をすることができました。その後、長く続く支援をしていきたいと考えて、2011年6月下旬に今の店をオープンさせました」。商品は府川さんが市場などで見つけ製造元に問い合わせたり、直接現地の工場やお店を訪ねるなどをして仕入れています。「震災の直接被害だけでも大変なのに放射能による風評被害。放射能検査をパスして安全だと分かっても、実際には福島産、茨城産というだけで避けられてしまいます。大きな工場やメーカーさんは何とかやっていっていますが、中小の企業は泣



代表理事の府川守さん

いていますよ。でも、そんな中小の企業にこそ、本当にいいものを作って頑張っているところが沢山ある。そんな企業の商品を中心に仕入れているんです」。例えば、会津でなめこの生産一筋で頑張ってきたおじいちゃんが作った、なめこの缶詰。一筋できたからこそ風評被害で商品が売れなくなっても、ひたすら作るしか道はありません。他にも、海

辺の工場が被害を受けた小さな会社で作る無添加で健康に配慮した美味しいかまぼこ。被害が大きかった陸前高田市産のりんごを使ったりんごジュースなど。「注文の返信 FAXに“助かります”とメモをされる方もいます」と府川さん。店内のどの商品にも、それに関わる沢山の人の想いが託されているのです。

「お店には、避難している被災者の方や、お身内が被災され亡くなられた方などもいらっしゃいます」とはスタッフの吉村智与子さん。「お店にいらした方に、夏はりんごジュース、冬はお汁粉をお出ししているんです。甘いものを食べながらお喋りしているとホッとされるのでしょうか、ご自身の辛い体験を話される方もいます。私達は聞くことだけしかできませんが、その方の気持ちに寄り添っていく姿勢は大切にしています」。懐かしい郷土の特産品を見つけて、嬉しそうに購入される方もいるそう。「被災された方、そして被災地を応援したい方、みなさんのお役に立てればと思っています」。

今後の目標は、お店の売り上げを採算ベースにのせることと、寄付金の額を増やすことだそう。「そのために街のイベントなどでお店のPRをするようになりました。また、企業やお店から商品の寄付を募り、その商品を売っています。仕入れのお金がかからないので、その売り上げは全額寄付金にまわせますから」と府川さん。「今、募金活動をしていても震災直後より集まりが悪いし関心も薄くなっています。でも、現地はまだまだ助けも現金も必要な状況です。だから私達もできるだけ長く続けられるように、頑張っていきたいと思います」。被災地の復興はこれからが本番で、私達ができることはまだまだある。そんな気持ちが感じられる活動でした。



いばらきの社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



環境に配慮して再生紙と大豆油インキを使用しています

発行者／社会福祉法人

茨城県社会福祉協議会

〒310-0586 水戸市千波町1918

TEL.029(241)1133(代) FAX.029(241)1434

<http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>

E-mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp



携帯電話で読み取るだけで簡単に「茨城県社協HP」にアクセスできます